

E F ぼとうかんのん じょうやとう
馬頭観音と常夜灯

旅の安全を祈る「馬頭観音」や「常夜灯」は下街道でも随所で見られ、古い街道の象徴といえます。鉄道開通以前の主要交通手段として馬が活躍した名残を感じます。「常夜灯」の明かりを灯すことは道中の安全を祈る村民の奉仕の証でもあります。街道沿いだけでなく、有力者が社寺に寄進したものなど、数多く残されています。



- 名鉄バス ▶ 坂下二丁目
- 23 坂下御殿趾 徒歩6分
- 24 坂下札の辻跡 徒歩3分
- 25 坂下の町並み 徒歩1分
- 26 坂下の道標と常夜灯 徒歩1分
- 27 萬壽寺 徒歩1分
- 28 御手洗 徒歩8分
- 29 神屋の秋葉さん 徒歩1分
- 名鉄バス ▶ 神屋住宅前

所要時間
約30分
距離
約2.3 km



25 さかした まちな 坂下の町並み

札の辻の角から北東へしばらく昔の面影を残す町並みが続き、萬屋・米屋などの旅籠跡があり、明治の終わりから昭和の初めにかけて栄えた製糸工場跡などの案内の札が立てられています。



26 さかした どうひょう じょうやとう 坂下の道標と常夜灯

下街道の別名「善光寺街道」をしのぶ道標が2つあります。自然石の道標には「右江戸せんこうし左さくみち大山」と刻字されています。すぐ横には弘化4年(1847)の刻字がある秋葉山の常夜灯があります。



27 ばんじゅじ 萬壽寺

文龜元年(1501)の創建で、元は上野村にありました。明治天皇の御巡幸の際には行在所(昼食場所)になり、現在は標柱が立てられています。本堂は大正元年(1912)に焼失後、大正10年(1921)に再建されました。



28 みたらし 御手洗

日本武尊が東征の帰り道、手を洗ったという伝説が残る池で、ほこらがあり、山の神もまつられています。かつては、この水で眼を洗えば眼病が治り、手を洗えばアハギしが治ると伝えられ、お参りの人が多くありました。



29 かぎや あきば 神屋の秋葉さん

戸口橋左側角のコンクリート製のほこらに観音像、弘法大師などがまつられています。敷地内には常夜灯が数基あり、地元御手洗集落の信仰が厚く、花が途絶えることがありません。どんど焼きもここで行われます。



30 こうほうだいしざそう ぼとうかんのん 弘法大師座像と馬頭観音

明照寺参道入口の左に弘法大師座像、右に馬頭観音があり、馬頭観音の台座には「馬車連中上組・中組・下組・大正三年」と刻まれています。往来する荷馬車や乗合馬車の安全を願って建てられたものです。



31 はくおういなりじんじや 白翁稻荷神社

明照寺近くの森にすむ白狐のお菊は、毎年、寺の大般若には白翁姿で参詣しておりました。ある夜、お菊は住職の蓐杖に立ち、正一位の位を受けてほしいと願い、その後、寺にまつられたことが神社の始まりと伝えられています。



32 めいしょうじ 明照寺

正保年間(1644-1647)創建の開法山明知庵を元文4年(1739)に改称しました。参道には約70体の地藏と三十三か所観音などの石仏がまつられています。近年、光明院から移設した石仏等もまつられています。